

国鉄改革完遂！  
当たり前の労働運動  
を前進させよう！

J R  
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部  
静岡市葵区黒金町 68  
NTT 054-284-3608

発行責任者 山本繁明  
2011年4月23日 No. 17

## 福島原発事故で海洋に漏れ続ける膨大な放射能 原子力政策でこれ以上海を汚してはいけない！

福島第1原発事故では、現在も原子炉を冷却するために注水が続けられ、膨大な量の汚染水（60000トン以上！）が発生しています。東京電力は、2号機の取水口付近から一時期海に流れ出した高濃度放射能汚染水の放射能の量は、およそ4700テラベクレルだと発表しました。しかし、これはピットと呼ばれる部分から滝のように海へ流れ出ていた汚染水だけのことです。恐らく、地震で損傷したであろう目に見えない箇所からも地下に漏れ続け、相当の量が海に流れ込んでいることは間違いありません。また低レベルとはいえ膨大な汚水が意図的に海へ放出されたのは、マスコミも伝えているとおりです。

ところで、日本という国が放射能で海を汚染してきたのはこれが初めてではありません。日本の原子力発電はこれまで、使用済み核燃料をイギリスのセラフィールドにあるウインズケール再処理工場に送って再処理をしてきました。そしてウインズケール再処理工場は、計画的（再処理の過程で不可避？）に放射性物質を海に捨ててきました。そのためアイリッシュ海は世界一汚染された海になってしまったのです。対岸のアイルランドはイギリス政府に対して、ウインズケール再処理工場の停止を要請してきましたが、日本は使用済み核燃料を送り続け、イギリスは再処理で金儲けしようとしてきました。それでも日本という国では、原発を「クリーンなエネルギー」だと言い続け、福島事故でさらに海を汚し続けているのに、政府も電力会社も「原発やめます！」と言わないのです。

**「自然と人間」の共生のため原発廃止を今こそ決意しよう！  
膨大な電力を必要とする「ニア計画」をストップさせよう！！**